

## 防災意識の高揚 炊事車でカレーを調理



野外炊具 1号



ブース

神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、3月21日（土）及び22日（日）、神奈川県南足柄市辻下グラウンドで行われた「春木径・幸せ道桜まつり」に広報ブースを出展した。

南足柄市内を流れる狩川の両岸には、171本の桜が植えられており、その桜並木の先にイベント会場が設けられた。このイベントへの参加は、南足柄市自衛隊協力が市民に対し、防災に関する意識を高めたいということがきっかけ。自衛隊の広報ブースでは、災害派遣活動の写真パネル展示や南足柄市を災害隊区に持つ、第1高射特科大隊第2中隊が野外炊具1号で300人分のカレーを手際よく調理し、災害時の給食能力をアピールした。

小田原地域事務所は、「今後も、関係部隊及び自衛隊協会と連携して、効果的な広報活動を行っていきたい」としている。

## 新たなスタートを祝福 「入隊予定者激励会」を支援



平成26年度三浦半島地区自衛隊入隊予定者激励会

神奈川地方協力本部横須賀地域事務所（所長 大里3海佐）は、3月7日（土）、横須賀市商工会議所において実施された、平成26年度三浦半島地区自衛隊入隊予定者激励会を支援した。

同激励会は、自衛官募集相談員会及び父兄会が共催し、横須賀市副市長をはじめ、部内外の多数の御来賓から、暖かい激励の言葉を頂いた。次いで、入隊予定の代表者が入隊に対する強い意気込みを述べた。ある入隊者は、「多くの支援者がいることや自分たちの職責の重さなどを認識させられた」と話していた。

横須賀地域事務所は「平成27年度も、より多くの若者をこの場に迎えられるよう業務に励みたい」としている。

## 百聞は一見にしかず



神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、3月20日（金）、入隊予定者の陸上自衛隊広報センター（朝霞駐屯地）見学を支援した。

同センターにおいて、90式戦車や偵察用オートバイ、対戦車ヘリコプター（AH-1S）などの見学を始め、射撃シミュレータやフライトシミュレータなどを体験し、「すごい！カッコいい！」と興奮ぎみの様子だった。見学前は、入隊を間近に控え、表情や会話の端に入隊に対する不安のようなものが感じられたが、見学を終えると、「早く入隊して部隊で活躍したい」と話すほどの変化が見られた。これまではDVDの映像やパンフレットなどで自衛隊を説明してきたが、「百聞は一見にしかず」。本物を見てもらうことの大切さを再認識させられた一日となった。

厚木募集案内所は、「今後も、入隊予定者の意欲向上に努めていく」としている。